

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：

- ・学校教育における性教育の意義と必要性を理解し説明することができる。
- ・学校における包括的性教育は、性と生殖に関する健康、セクシュアリティ、行動、態度に関する事実と科学的根拠に基づいて構成されていることを理解することができる。
- ・日本の性教育をめぐる現状を諸外国の状況と比較しながら検討し、日本の性教育の課題について具体的に考察することができる。

授業の概要：

性教育の国際的動向として、性を「人権」「科学」の視点からとらえ、すべての子どもたちの性的健康を保障するものと考えられている。一方、日本では2002年以降続いた性教育バッシングの影響等により、学校における性に関する指導に対し教育関係者が慎重な姿勢を示す傾向がみられた。現在も若者の性に関する諸問題は継続的に存在しており、適切な性教育を受けていないことによる課題は依然として残っている。これらを踏まえ、日本の性教育をめぐる現状を諸外国の状況と比較しながら検討し、日本の性教育の課題および学校における包括的性教育について考察する。

【授業計画】

- ① 科目オリエンテーション、諸外国の性教育の現状
 - (1) オリエンテーション、諸外国の性教育
[内容] 科目オリエンテーションを実施し、評価について説明する。
諸外国と日本の性教育の違いについて、担当者、担当科目、内容等の観点から理解し、日本の課題について考える。
- ② 性の多様性を学ぶ
 - (2) 性の多様性、SOGIE
[内容] 性の多様性についての学習がなぜ大切なのか、世界的機関における位置づけを知り、日本の学校教育における課題について考える。
- ③ 包括的セクシュアリティ教育の理解
 - (3) 包括的セクシュアリティ教育(CSE)
[内容] 2018年に改訂された、国際セクシュアリティガイダンス(International Technical Guidance on Sexuality Education)をもとに、包括的セクシュアリティ教育の目的、対象、内容について解説する。
- ④ 効果的な包括的セクシュアリティ教育プログラムの実際
 - (4) キーコンセプト、カリキュラム開発
[内容] 国際セクシュアリティガイダンスにおける包括的セクシュアリティ教育のキーコンセプト、トピック、学習目標について解説する。包括的セクシュアリティ教育プログラム計画に必要な各要素について検討する。
- ⑤ 日本における性と性教育をめぐる現状と課題
 - (5) ジェンダー、若者の性行動
[内容] 日本のジェンダー平等の現実とその取り組みについて解説する。
日本の若者の性行動の現状を知り、性行動にはさまざまな社会環境的な要因と関連があることを理解する。

- ⑥ 学校における性に関する指導
(6)性に関する指導、学習指導要領
[内容] 各自治体から発行されている性に関する指導の手引きを等参考に、小・中学校、高等学校・特別支援学校の性に関する指導の実際を解説する。学習指導要領をもとに、性に関する指導の効果を高めるための手立てや目標を達成するために必要な事柄を検討する。
- ⑦ 性感染症の予防
(7)相談、検査
[内容] HIVを含む性感染症は、予防、治療、管理が可能であることを知り、セーフアセックスのための交渉や性的同意に関わるさまざまなスキルについて考察する。
- ⑧ HIV/AIDS と私たちの暮らし
(8)検査と治療、陽性者の就労
[内容] HIV 感染症に関する国内外の動向について理解し、陽性者の暮らしについて考える。HIV/AIDS とともに生きる私たちの社会について考えるとともに、pep・prepについて解説する。
- ⑨ リプロダクティブ・ヘルス/ライツとしての妊娠・出産・中絶①
(9)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
[内容] リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、妊娠・出産・中絶に関して主体的に取り組むために必要な知識について説明する。
- ⑩ リプロダクティブ・ヘルス/ライツとしての妊娠・出産・中絶②
(10)避妊法、自己決定
[内容] さまざまな避妊法について解説する。若者が主体的に避妊法を選択できるような支援、性教育について考える。
- ⑪ 学校における性暴力の対応と予防教育
(11)性暴力の理解、予防教育
[内容] 性的虐待、性暴力、パートナー間の暴力、いじめの実態について解説する。性の健康を扱う専門家に必要なコミュニケーションスキルの向上及び支援者としての態度について検討する。
- ⑫ パートナーシップ制度と同性婚訴
(12)自治体の取り組み、同性婚訴訟
[内容] 各自治体で取り組まれているパートナーシップ条例・要綱について解説する。同性婚に関する国家賠償請求訴訟について解説し、なぜ同性同士で結婚できないことが憲法違反であり権利侵害となるのかについて検討する。
- ⑬ 性教育ワークショップ①
(13)課題発表とグループ討議
[内容] 授業内で提示した課題について発表・グループ討議を行い、科目のまとめを行う。
- ⑭ 性教育ワークショップ②
(14)課題発表とグループ討議
[内容] 授業内で提示した課題について発表・グループ討議を行い、科目のまとめを行う。

【授業外学習】

講義に関連する文献リストを初回に配布するので、それに基づいて、事前に学習すること。

【成績評価の方法・基準】

授業展開への貢献度（平常点）とレポート提出、各々50%で評価する。

【教科書】

なし

【参考書】【教材】

参考書として、橋本紀子、池谷壽夫、田代美江子編著『教科書にみる世界の性教育』かもがわ出版、2018年、橋本紀子、田代美江子、関口久志編著『ハタチまでに知っておきたい性のこと』改訂版、大月書店、2017年を使用するが、その他、資料を配付し、適宜、他の参考書を紹介する。

【備考】

なし